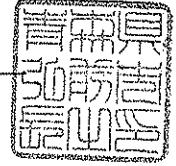




弘土収 第 109号
平成19年5月 2日

国土交通省道路局長 様

弘前市長 相 馬 鋳



道路整備に関する中期的な計画の策定について

平成19年4月2日付け、国道企第114号で依頼のありましたこのことについて、
別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取りはからいくさるようお願いします。

〔 担当:建設部土木課 総括主幹 柳原 〕
〔 電話0172-35-1111 FAX0172-39-7119 〕

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

弘前市長

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

弘前市は、少子高齢化が急速に進み、豪雪地帯であることなど、地理的・自然的・社会的条件の克服を課題としております。

鉄道などの公共交通機関の整備の遅れから、経済活動をはじめ、通勤・通学など、生活水準を維持するため、道路交通に対する依存度は極めて高い状況ですが、その整備は大きく立ち遅れているのが実態であります。

このことから、次の点を優先して計画策定を進めていただきたい。

- 地方の生活水準を維持し、観光資源等社会的資源を守り、医療機関、郊外型商業施設及び雇用の場などを効率的に利用できる交通ネットワークの構築。
- 安全で安心して利用できる交通事故の少ない道路の整備。
- 効率的な道路利用を促進するため、また、沿道環境や地球環境を守るための渋滞対策。
- 観光資源や農業資源と一体となった道路の整備。
- 増加する維持管理費の確保。

なお、国道7号は、津軽平野を縦断し、県都青森市と津軽地方の中心都市弘前市を結ぶ広域主要幹線ではありますが、既に4車線として供用されている区間については、交通渋滞の解消や交通アクセスの向上などに多大な効果をもたらしており、未着手区間についても、引き続き整備促進を要望してまいります。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

弘前市の財政状況は自主財源に乏しく、財源の多くを地方交付税や地方債などに依存せざるを得ない脆弱な構造となっており、財政調整基金をはじめとする各種基金も減少してきております。

このため市では、政策的経費や投資的経費についても企業経営の観点から、その必要性、緊急性、投資効果等を十分に見極め、最小の経費で最大の効果を上げられるような施策の選択と展開に鋭意努めております。

このことから、次の点を重視して計画策定を進めていただきたい。

- 維持管理における早期の対応と戦略的な管理による長寿命化。
- 科学的分析に基づく効果的な事故対策。
- 調査データに基づき、ポイントを絞った対策。
- 整備計画は広域的ネットワークの観点から策定する。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

地方では、公共交通機関の本数を増やすことは難しくマイカーに頼らざるを得ない現状にあり、道路整備の促進は重要課題であります。

都市、地方のいずれに住む者も公平で活力ある生活が営まれるよう、その根幹的社会基盤施設である道路整備をより一層積極的に押し進め、未だ遅れている地方の道路整備がますます立ち遅れることのないようにしていただきたいと考えます。